

ネー、ボク上手？



たんぼ千本焼きに長蛇の列



歩いて会って何でも話す  
ワクワクの突撃取材

# あつてグッド

市民の皆さんが  
たくさん登場

☆今回訪ねたのは  
「長木川市民広場」

H18.10.15取材



## 秋

晴れとは言いますが、こんなにも空は青かった？ なんて思っぐらいの青空。今日は本場大館きりたんぼまつりの2日目。こんな日に外で食べるきりたんぼ鍋は、さぞやおいしいだろうなあ…。オツと、口元のよだれを指で押さえつつ、たんぼの香ばしい香りに誘われるまま、突撃取材への出発と相成りました。

## 会

場の長木川市民広場には、開場から早くも大勢の人の列。人気のたんぼ千本焼きに参加の皆さんでした。串とおにぎり大のご飯を受け取るとたんぼ作りに挑戦です。どれどれ可愛らしい子の写真でも、ん？「すみません。これ、どうやって作るんですか？」の声。オヤ、若いお母さんと子供がご飯を平らに伸ばして、なんと串を芯にロールケーキみたいにしようという四苦八苦。そうじゃなくって、おにぎり状のご飯を串の頭から…などと説明している、「あつ、そつなんだ」と別の方からも声が。こりゃ、いかん。急ぎよ、たんぼ作りの説明役に回る羽目！…。

## 自

作のたんぼを焼き上げ、味噌付けたんぼをうまく完成して、おいしそうにほ

おばっているご家族にインタビュ！こ

のきりたんぼまつりへは、毎年？「今年始めて来たんです」とは、藤原美

紗子さん（沢山）と長女明衣ちゃん

（山館児童館）、睡眠中の長男一爽くん（1歳5カ月）、旦那

さんのお母さんの君子さん、そして旦那さんの妹、

静香さんの5人。美紗子さんは、旧鷹巣町出身ですが、実家では、きりたんぼ

は作らなかったとのこと。でも今の時期、食べますよね？「おばあちゃんが作っ

てくれるから」。アララ、そうですね。そういうえばさう

うですか。そういうえはさうき三種町から来たという家族

も、きりたんぼは作らないと言っていましたから、県北でも家

庭できりたんぼを作るエリアは限られていたみたい。でも美紗子さん、

今度ぜひ覚えてくださいネ。



お茶目なポーズの明衣ちゃん（左から2人目）一爽くんは残念ながら最後までおネムでした。